

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年10月20日 (2016.10.20)

【公開番号】特開2015-63095(P2015-63095A)

【公開日】平成27年4月9日 (2015.4.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-023

【出願番号】特願2013-199302(P2013-199302)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/335 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/20 1 1 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月2日 (2016.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表面にグレーズ層を形成した支持基板と、前記グレーズ層上に配置されて発熱部となる発熱抵抗体素子であって、第 1 端を通電電極に接続され第 2 端を折り返し電極に接続されて発熱体領域を区画され前記折り返し電極は隣接する 2 つの発熱抵抗体素子の第 2 端を連結し前記通電電極および前記折り返し電極を介して通電され前記 2 つの発熱抵抗体素子で前記発熱部を形成する発熱抵抗体素子と、少なくとも前記通電電極、前記折り返し電極および前記発熱抵抗体素子を被覆する保護層と、前記発熱抵抗体素子上でかつ前記保護層上に形成された熱伝導層とを具備するサーマルヘッドであって、

前記熱伝導層は実質的に方形パターンでなり前記 2 つの発熱抵抗体素子上に配置され、前記熱伝導層の前記折り返し電極側の端は前記折り返し電極上に位置していることを特徴とするサーマルヘッド。

【請求項 2】

前記熱伝導層の長さ L は前記発熱抵抗体の長さ G に対して、 $G \leq L$ であることを特徴とする請求項 1 に記載のサーマルヘッド。

【請求項 3】

前記熱伝導層は、前記保護層上において隣接する 2 つの発熱抵抗体を跨る 1 つの平面パターンからなり、前記平面パターンは前記折り返し電極に一部が重畳することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のサーマルヘッド。

【請求項 4】

前記熱伝導層が前記折り返し電極に重畳する距離 L1 は、前記発熱抵抗体の長さ G に対して、 $L1 \leq G/3$ であることを特徴とする請求項 3 に記載のサーマルヘッド。

【請求項 5】

前記熱伝導層は、前記保護層に埋設されていることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか 1 項に記載のサーマルヘッド。

【請求項 6】

前記熱伝導層は、保護層よりも熱伝導率の高い金属または金属窒化物からなることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 のいずれか 1 項に記載のサーマルヘッド。